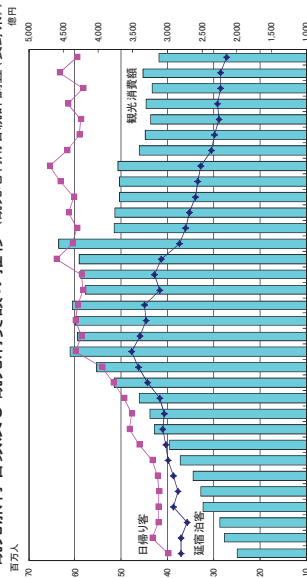


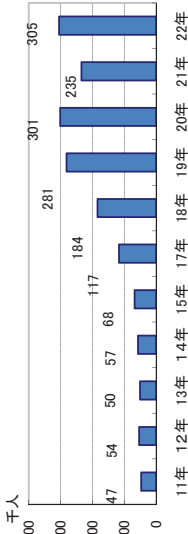
現 状

【人（観光）】

観光旅行者数及び観光消費額の推移（観光地利用者統計調査（長野県））



外国人宿泊者数の推移（外国人宿泊者調査（長野県））



【もの（県産品）】

長野県原産地呼称管理制度認定品数

年度	ワイン	シードル	日本酒	焼酎	米	合計
H15	40		171			211
H16	57		271	4	9	341
H17	72		289	24	17	402
H18	76		203	19	14	312
H19	67	3	250	26	19	365
H20	60	3	212	16	47	338
H21	72	6	216	24	50	368
H22	88	10	218	32	42	390
H23	86	8	230	35	58	417

・信州ブランドを意識した生産が拡大している。

【交流（移住・交流）】

区分		年度					合計	
		H18	H19	H20	H21	H22		
市町村の仲介により実現した移住（33市町村）		51	94	143	144	182		
県「田舎暮らし案内」による移住実績		18	20	19	22	18		
合 計		69	114	162	166	200		

・行政窓口を経由した移住者が増加してきている。

長野県への移住・二地域居住ニーズの状況

移住したい都道府県（3年連続上位）*	移住したい都道府県		移住したい都道府県		首都圏住民の「二地域居住」潜在先*	
	1位	2位	3位	4位	1位	2位
1位	長野県	北海道	長野県	長野県	長野県	長野県
2位	千葉県	長野県	沖縄県	千葉県	千葉県	千葉県
3位	静岡県	福岡県	北海道	静岡県	静岡県	静岡県

*1 田舎暮らしの本（宝島社）「移住したい都道府県アンケート2011」（2012.2）
*2 NPO法人ふるさと回帰支援センター「ふるさと回帰支援センター2007アンケート」（2007.3）
*3 財団法人全国農産物産地活性化「地方都市への定住促進調査」（2009.3）
*4 国土交通省「二地域居住に対する都市住民

長野県の主な取組

○人（観光）

- ・信州四季旅特別キャンペーン実施事業（100,000千円）
→ 市町村、経済団体と連携し、四季毎の年間を通じた観光キャンペーンを実施。
- ・信州まつもと空港と連携した周遊観光推進事業（4,056千円）
→ 信州まつもと空港定期便就航先において観光PRイベントを開催し、誘客を拡大。
- ・「食」の魅力発信事業（8,108千円）
→ 宿泊施設や農業、食品製造業との連携により「おいしい信州ふーど」を商品化し、食の魅力による誘客促進を図る。
- ・スノーリゾート信州構築事業（20,379千円）
→ 県内スキー場の利用者数拡大に向けたプロモーションの実施。新しいスノーリゾートの構築。
- ・外国人旅行者戦略的誘致推進事業（33,344千円）
→ 中国や台湾、シンガポールにおいて、効果的な誘客活動を実施。

○もの（県産品）

- ・おいしい信州ふーど（風土）プロジェクト推進事業（農政部）（48,101千円）
→ おいしい信州ふーど（風土）の情報発信による農畜産物のブランド力の構築と消費拡大。
- ・信州農産物マーケティング戦略推進事業（農政部）（8,569千円）
→ 中長期的なマーケティング戦略の再構築とイベント等の開催による販路の拡大。
- ・長野県原産地呼称管理制度運営事業（農政部）（9,232千円）
→ 農産物の生産情報を付加価値として、消費者の視点で信州農産物のブランド化を推進。

○交流（移住・交流）

- ・長野県移住・交流推進戦略の策定（平成24年3月16日）（別添）
- ・長野県移住・交流センター等の設置（平成24年5月開設予定）

場所：長野県東京観光情報センター内（東京交通会館2階）

体制：移住専門相談員、1ターンの相談員 各1名

機能：「住」と「職」の相談にワンストップで対応

場所：長野県東京観光情報センター内（東京交通会館2階）

機能：長野県専用ブースの設置、セミナー、相談会の実施

- ・移住・交流推進事業（13,371千円）
→ 首都圏における移住・交流の拠点整備や情報発信、市町村の受入体制充実の支援。
- ・U・Iターン促進事業（商工労働部）（36,556千円）
→ 就職相談会の開催や県内企業の求人情報提供により、県内への就職を促進。

課 題

- ・優れた資源が数多くあるのに、統一感のある情報発信が不十分である。
- ・潜在的なブランド力にどのように磨きをかけるか、系統的な取り組みがない。
- ・以前にもブランドに関する取組があったが、幅広い共有がなされず、具体的なアクションにつながらなかった。

今後の戦略として「長野県」の発信、売り込み機能を検討する必要があるのではないか。（参考資料）